



おいしさをいつもあなたのもとへ

Since 1886

伊藤忠食品株式会社

証券コード：2692

# TOP MESSAGE

## トップメッセージ

### ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、当社第89期（平成18年10月1日から平成19年3月31日まで）の「中間報告書」をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

なお、当中間期の配当につきましては、「中期経営計画」に掲げる配当性向20%を目標にした利益配分の方針のもと、1株につき前中間期比3円増配の28円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

代表取締役  
社長執行役員

濱口泰三



### 当中間期の経営環境

当中間期のわが国経済は、世界同時好況と円安の下、堅調な輸出と設備投資に牽引され、好調に推移いたしました。しかしながら、米国経済の減速、中国の金融引締政策、資源価格の高止まりや為替リスクなどにより先行きにやや不透明感が漂っております。

食品流通業界においては、大手小売業の経営統合や酒類・食品メーカーの資本業務提携など業界再編は加速されました。市場規模縮小もあり業態を超えた競争は一段と激化し、消費の回復を体感できない厳しい経営環境が続きました。

### 当中間期の概況

このような状況下、当社グループはステークホルダーの皆様にさらにご満足いただけるよう、経営陣と社員が一丸となって「中期経営計画」の達成に向け努力してまいりました。中核事業の強化・拡大に努めると同時に新たなビジネスモデルを構築するため、新会社3社をこの中間期に設立し布石といたしました。

当中間期の売上高は、スーパー、コンビニエンスストア等との取引が好調に推移し、売上高は前年同期比較4.4%（117億34百万円）増加の2,812億53百万円となりました。

営業利益は、売上拡大、利益率の改善や共同配送等物流効率の改善により、前年同期比較3.3%（84百万円）増加となりました。

しかしながら新設子会社の先行費用、一部持分法適用会社の償却増により、経常利益は前年同期比較11.4%（3億31百万円）減少の25億69百万円となりました。

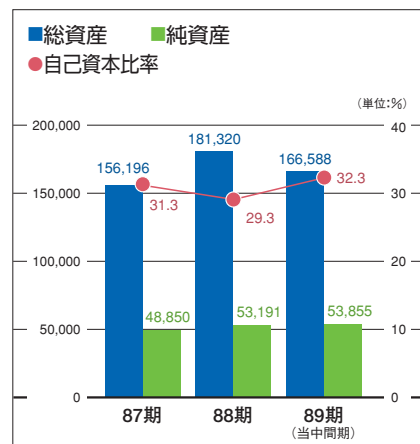
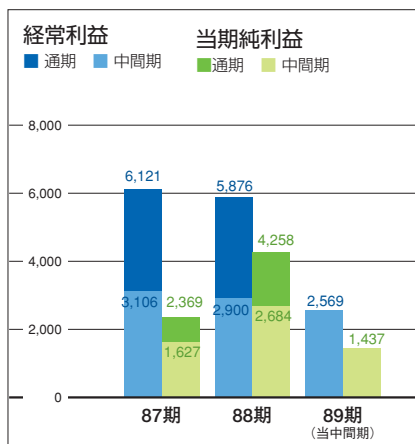
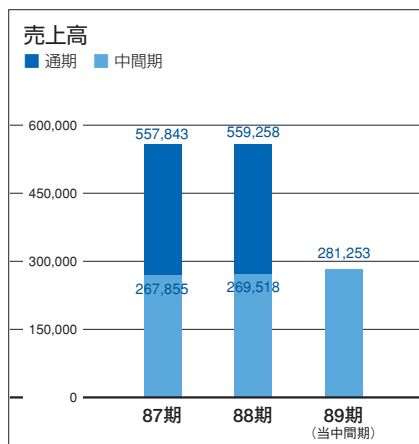
法人税等差引き後の中間純利益は前年同期比較46.4%（12億46百万円）減少の14億37百万円となりました。これは、前年同期に固定資産および投資有価証券を売却するなど16億67百万円の特別利益を計上したためであります。

## 当期の見通し

下半期の国内経済につきましては、堅調な企業収益の増加による設備投資の拡大と雇用情勢の改善による個人消費の緩やかな回復が見込まれますが、食品流通業界におきましては業界再編等によりますます競争は激化していくものと思われま

このような状況下、当社グループは引き続き中核事業である、スーパー、コンビニエンスストア、百貨店等との取引拡大を見込んでおり、さらに採算管理の徹底と経費削減による効率経営を推進し、利益面の改善と収益の確保に努める所存であります。当第89期は一昨年策定いたしました中期経営計画の2年目にあたり、目標達成に向かって加速をつける重要な年と認識しております。

当期の見通しにつきましては、売上高は前期比較2.4%増加の5,726億18百万円を予定しており、利益面では営業利益52億86百万円、経常利益55億3百万円、当期純利益32億19百万円を見込んでおります。なお、経常利益減益（前期比較△6.3%）の要因は、新ビジネスモデルを構築するべく設立子会社の先行費用が嵩むためであります。また、アセットマネジメントは引き続き推進していく所存であります。



(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

# FOR THE NEXT STAGE

CHANGE & CHALLENGEに向けて

当社グループでは、中期経営計画 (Next10・Innovative Solution Company) に基づき、「機能の質的向上」と「価値の提供」を創造し続け、収益拡大が可能な分野に経営資源を集中することにより、なお一層の営業基盤の拡充を図ってまいります。



## コア・コンピタンスの強化・拡大

中長期的な経営戦略である、「コア・コンピタンスの強化」(中核事業の強化)の実行により、当社の基本機能である「営業機能」「情報機能」「物流機能」「代金決済機能」「商品開発機能」「マーケティング機能」のそれぞれを高度化し「機能の質と精度」を高め、お取引先様・お客様に対する新たな価値の提

供に取組んでおります。

また「コア・コンピタンスの拡大」(中核事業関連・周辺事業領域の拡大)により、消費者・取引先のニーズに対応する新しいビジネスモデルの構築に努め、収益の安定確保・拡大できる経営体質の確立を目指しております。

## 伊藤忠食品グループの状況

### 卸売業

- (株) 静岡メイカン
- 愛知伊藤忠食品 (株)
- 九州伊藤忠食品 (株)
- ティーエスアイ (株)
- (株) 中部メイカン
- 北陸中央食品 (株)
- カネトミ商事 (株)

### 物流管理・運送業

- 新日本流通サービス (株)
- (株) 東名配送センター
- ジャパン・カーゴ (株)

### 食品製造業

- (株) 磯美人
- プライムデリカ (株)



### 外食業

- (株) リシオ

### 小売業

- (株) 宝来商店

### サービス業

- (株) アイ・エム・シー
- (株) グレースコーポレーション
- (株) トレーサーコーポレーション

● 連結子会社 ● 非連結子会社 ● 関連会社

## グループ会社の異動

- 平成18年12月  
(株) トレーサーコーポレーションを  
設立しました。
- 平成18年12月  
(株) リシオを設立しました。
- 平成19年3月  
ティーエスアイ(株)を設立しました。
- 平成19年3月  
エイチ・アイ・コーポレーション(株)  
の全株式を売却しました。

### 子会社の概要

会社名：株式会社トレーサー  
コーポレーション  
資本金：8,000万円  
株主構成：当社100%  
事業内容：宅配サービスの企画・  
運営並びに情報シス  
テム、ソフトウェアの  
開発・運営

### 子会社の概要

会社名：株式会社リシオ  
資本金：3,000万円  
株主構成：当社100%  
事業内容：外食事業の経営並び  
にそれに付帯する一  
切の事業

### 子会社の概要

会社名：ティーエスアイ株式  
会社  
資本金：3,000万円  
株主構成：当社60%、  
東洋新薬40%  
事業内容：保健機能食品、  
健康食品等の販売

# CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

## 連結決算の概要

### ■ 中間連結貸借対照表 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前期
	平成19年3月31日現在	平成18年9月30日現在
● 資産の部		
流動資産	114,131	129,173
固定資産	52,456	52,147
有形固定資産	21,722	21,666
無形固定資産	629	408
投資その他の資産	30,104	30,071
資産合計	166,588	181,320
● 負債の部		
流動負債	108,813	124,252
固定負債	3,919	3,875
負債合計	112,733	128,128
● 純資産の部		
株主資本	49,399	48,352
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,162	7,162
利益剰余金	37,318	36,271
自己株式	△ 5	△ 4
評価・換算差額等	4,448	4,763
その他有価証券評価差額金	4,448	4,763
新株予約権	7	—
少数株主持分	—	75
純資産合計	53,855	53,191
負債純資産合計	166,588	181,320

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

### ■ 中間連結損益計算書 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成18年10月1日から 平成19年3月31日まで	平成17年10月1日から 平成18年3月31日まで
売上高	281,253	269,518
売上原価	252,105	241,355
売上総利益	29,147	28,163
販売費及び一般管理費	26,506	25,606
営業利益	2,641	2,556
営業外収益	430	444
営業外費用	501	100
経常利益	2,569	2,900
特別利益	348	1,667
特別損失	59	10
税金等調整前中間純利益	2,857	4,557
法人税、住民税及び事業税	1,014	1,524
法人税等調整額	405	347
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	0
中間純利益	1,437	2,684

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

### ■ 中間連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円) 当中間連結会計期間 (平成18年10月1日から平成19年3月31日まで)

	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金			
平成18年9月30日残高	4,923	7,162	36,271	△ 4	48,352	4,763	—	75	53,191
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当	—	—	△ 390	—	△ 390	—	—	—	△ 390
中間純利益	—	—	1,437	—	1,437	—	—	—	1,437
自己株式の取得	—	—	—	△ 0	△ 0	—	—	—	△ 0
株主資本以外の項目の中間連結会計 期間中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	△ 314	7	△ 75	△ 382
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	1,046	△ 0	1,046	△ 314	7	△ 75	663
平成19年3月31日残高	4,923	7,162	37,318	△ 5	49,399	4,448	7	—	53,855

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

## 売上高

業態別では、スーパー、コンビニエンスストア等との取引が好調に推移したこと、また商品分類別では酒類が前年同期比較で9.3%（82億26百万円）増加したこと等により、売上高は前年同期比較4.4%（117億34百万円）増加の2,812億53百万円となりました。

## 営業利益

営業利益は、売上拡大、利益率の改善や共同配送等物流効率の改善により、前年同期比較3.3%（84百万円）増加の26億41百万円となりました。

## 経常利益

新設子会社の先行費用、一部持分法適用会社の償却増により、経常利益は前年同期比較11.4%（3億31百万円）減少の25億69百万円となりました。

## 中間純利益

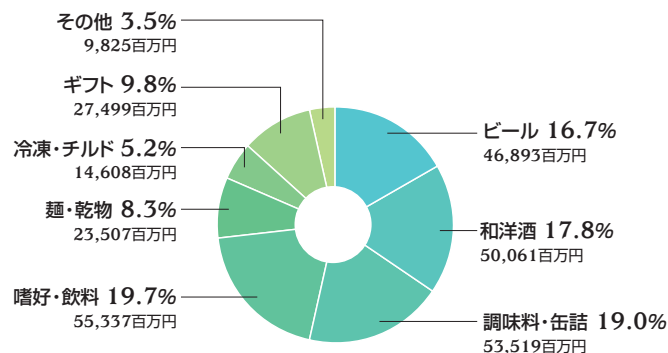
中間純利益は前年同期比較46.4%（12億46百万円）減少の14億37百万円となりました。これは、前年同期に固定資産および投資有価証券を売却するなど16億67百万円の特別利益を計上したためであります。

## ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）

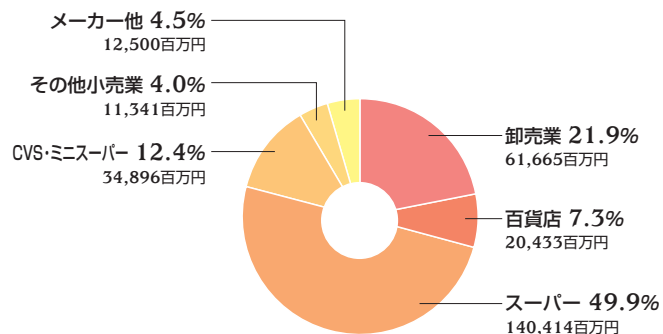
科 目	当中間期	前中間期
	平成18年10月1日から 平成19年3月31日まで	平成17年10月1日から 平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,970	△ 4,882
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 911	3,241
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 311	△ 14
現金及び現金同等物の増加額	△ 8,193	△ 1,655
現金及び現金同等物の期首残高	23,938	12,798
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,744	11,143

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

## ■ 商品分類別売上高構成比



## ■ 業態別売上高構成比



# Non-CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

## 個別決算の概要

### ■ 中間貸借対照表 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前期
	平成19年3月31日現在	平成18年9月30日現在
●資産の部		
流動資産	110,695	125,070
固定資産	51,042	50,825
資産合計	161,737	175,895
●負債の部		
流動負債	105,300	120,296
固定負債	2,805	2,942
負債合計	108,106	123,239
●純資産の部		
株主資本	49,194	47,918
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,161	7,161
利益剰余金	37,114	35,838
自己株式	△5	△4
評価・換算差額等	4,429	4,737
その他有価証券評価差額金	4,429	4,737
新株予約権	7	—
純資産合計	53,631	52,655
負債純資産合計	161,737	175,895

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

### ■ 中間損益計算書 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成18年10月1日から平成19年3月31日まで	平成17年10月1日から平成18年3月31日まで
売上高	273,464	261,680
売上原価	246,178	235,479
売上総利益	27,286	26,201
販売費及び一般管理費	24,752	23,687
営業利益	2,533	2,513
営業外収益	463	374
営業外費用	87	96
経常利益	2,909	2,791
特別利益	445	1,665
特別損失	455	41
税引前中間純利益	2,899	4,415
法人税、住民税及び事業税	984	1,497
法人税等調整額	247	316
中間純利益	1,667	2,601

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

### ■ 中間株主資本等変動計算書 (単位：百万円) 当中間会計期間 (平成18年10月1日から平成19年3月31日まで)

	株主資本								評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式				株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計					
				別途積立金	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金						
平成18年9月30日残高	4,923	7,161	1,230	29,900	210	4,496	35,838	△4	47,918	4,737	—	52,655
中間会計期間中の変動額												
別途積立金の積立	—	—	—	3,300	—	△3,300	—	—	—	—	—	—
固定資産圧縮積立金の取崩	—	—	—	—	△5	5	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△390	△390	—	△390	—	—	△390
中間純利益	—	—	—	—	—	1,667	1,667	—	1,667	—	—	1,667
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	△0	△0	—	—	△0
株主資本以外の項目の	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△308	7	△300
中間会計期間中の変動額 (純額)	—	—	—	3,300	△5	△2,018	1,276	△0	1,276	△308	7	975
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	3,300	△5	△2,018	1,276	△0	1,276	△308	7	975
平成19年3月31日残高	4,923	7,161	1,230	33,200	204	2,478	37,114	△5	49,194	4,429	7	53,631

※百万円未満は切り捨てて表示しております。



# DETAILS OF SHAREHOLDER BENEFIT PLAN

## 株主優待のご案内

当社では、株主の皆様に当社をより身近に感じていただくために、当社オリジナルギフト商品をご賞味いただける株主優待を行っております。

### 商品の一例



ロイヤルオークホテル  
こだわりチキンカレー



国産黒毛和牛ロールステーキ



山元 昆布包み味噌木樽入



宝大納言本舗 本煉羊羹詰合せ



伊賀越 調味料ギフト

### 優待内容

「ちよいす de チョイス」(3,000円相当)  
30種類の厳選された商品の中から  
お好きな品をお選びいただけるギフトです。

### 対象

毎年9月30日の最終の株主名簿に記載  
または記録された単元株式数(100株)以上  
保有の株主様1名につき1口

### 実施時期

12月中にオリジナルカタログの送付を予  
定しております。  
ギフト商品の発送は1月を予定しております。



大山ハム 伝統の逸品



鹿児島産黒豚しゃぶしゃぶ  
詰合せ



新潟県佐渡産こしひかり

※ギフト商品は昨年と変更になる場合があります。

# CORPORATE PROFILE

会社の概要 (平成19年3月31日現在)

■ 商号	伊藤忠食品株式会社
■ 創業年月日	明治19年2月11日(1886年2月11日)
■ 設立年月日	大正7年11月29日(1918年11月29日)
■ 資本金	4,923,464,500円
■ 従業員数	連結1,172名 個別872名
■ 事業内容	酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関するマーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。
■ 本店所在地	大阪市中央区城見2-2-22 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話(06)6947-9811 東京本社 〒103-8320 東京都中央区日本橋室町3-3-9 電話(03)3270-7620

## ■ 役員

取締役 会長執行役員	尾崎 弘	専務執行役員	大野 志郎
代表取締役 社長執行役員	濱口 泰三	専務執行役員	足立 誠
代表取締役 副社長執行役員	西村 均	常務執行役員	栗山 勝之
取締役 専務執行役員	岩城 彰	常務執行役員	佐藤 進
取締役(非常勤)	青木 芳久	執行役員	山仲 春男
常勤監査役	浜田 等	執行役員	泉屋 洋
監査役(非常勤)	松本 耕一	執行役員	森本 政朗
監査役(非常勤)	増岡 研介	執行役員	長谷 茂
監査役(非常勤)	西山 実	執行役員	藤田 博
		執行役員	藤原 章夫

# CORPORATE HISTORY

会社の沿革

1886年12月 武田長兵衛商店より洋酒食料部門を譲受け、洋酒食料品雑貨の直輸入商および卸問屋業の松下善四郎商店を創業。



1918年11月 松下善四郎商店を改組して(株)松下商店(本社：大阪市)を設立。

1971年 3月 (株)鈴木洋酒店(本社：東京都)を合併し、商号を松下鈴木(株)に変更。

1982年10月 伊藤忠商事(株)と資本・業務提携。

1996年10月 (株)メイカン(本社：名古屋市)と合併し、商号を伊藤忠食品(株)に変更。

2001年 3月 東京証券取引所市場第一部に上場。



2006年12月 創業120周年。  
中期経営計画「NEXT10 Innovative Solution Company」策定。

# STOCK INFORMATION

株式の状況 (平成19年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	40,000,000株
■ 発行済株式の総数	13,032,690株
■ 株主数	6,504名

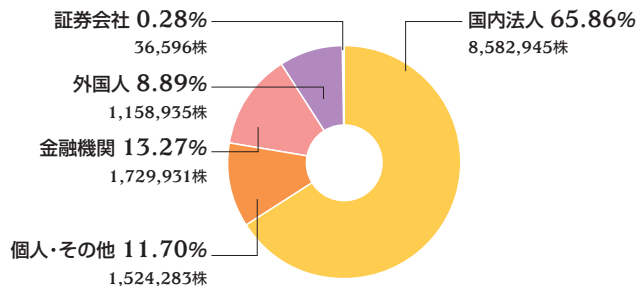
## ■ 大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,219,316	47.72
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)	690,000	5.29
味の素(株)	539,129	4.14
アサヒビール(株)	421,500	3.23
西野商事(株)	400,000	3.07
松下善四郎	302,000	2.32
ビーエーエイチファイリティスマールキャップインディペンデンス ファンド	245,200	1.88
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託	236,835	1.82
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	164,900	1.27
伊藤忠食品従業員持株会	148,400	1.14

(注)1 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口) の所有株式は、アサヒビール(株)が所有していた当社株式を住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール(株)に留保されております。

2 みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

## ■ 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

■ 事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
■ 定時株主総会	毎年12月
■ 基準日	定時株主総会 9月30日 期末配当金 9月30日 中間配当金 3月31日
■ 株主名簿管理人	〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
■ 同事務取扱場所	〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目2番21号 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店 証券代行部
■ 同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
■ 公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載の当社ホームページアドレス <a href="http://www.itochu-shokuhin.com/">http://www.itochu-shokuhin.com/</a>
■ 単元株式数	100株
■ 証券コード	2692

## お知らせ

### 各種手続きに必要な用紙のご請求

住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求  
および配当金振込指定に必要な用紙のご請求は、  
下記にて受付しております。

株主名簿管理人のフリーダイヤル

**0120-87-2031**

インターネットホームページ

[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

# ISC 伊藤忠食品株式会社

## お問い合わせ

### 大阪本社

〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22  
電話 (06)6947-9811

### 東京本社

〒103-8320 東京都中央区日本橋室町3-3-9  
電話 (03)5270-7620

### インターネットホームページURL

<http://www.itochu-shokuhin.com/>

## ホームページのご案内

<http://www.itochu-shokuhin.com/>

当社ホームページでは、企業情報・IR情報、採用情報、最新ニュース等、当社に関する情報を提供しております。IR情報では、決算短信や報告書等がご覧いただけます。



本報告書は、環境保全のため、古紙100%再生紙を使用し、大豆油インクで印刷しています。